

令和 3 年 8 月 24 日現在

機関番号：32506

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16K02696

研究課題名(和文) 日本現存朝鮮古刊本の調査とその語学的・書誌学的研究

研究課題名(英文) The linguistic and bibliographic Study of Old Korean Books in Japan

研究代表者

藤本 幸夫 (Fujimoto, Yukio)

麗澤大学・研究センター・その他

研究者番号：70093458

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：この5年間の調査及び研究をほぼ順調に終えた。尊経閣文庫・早稲田大学図書館・山口県立図書館・松ヶ丘文庫は調査終了、宮城県立図書館・九州大学図書館・人吉高校は再確認完了、杏雨書屋所蔵三木栄博士旧蔵朝鮮本は350部程あり、まだ完了していないが、医学書を中心に稀覯書が多い。近年江戸時代の医家福井氏旧蔵医書が文化庁に入り、杏雲書屋に寄託された。その中に貴重朝鮮本19部があり、全てが稀覯書或いは天下の孤本である。内閣文庫は調査済みであるが、『図録篇』作成のために写真撮影を行っている。平成30年刊行『日本現存朝鮮本研究 史部』(A4版 上下2段 1588頁)によって、令和3年恩賜賞・学士院賞を受賞した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

筆者の研究目的は、朝鮮本を中心として日本・中国との歴史的文化交流の実態を探ることである。その具体的な方法として、日本に多く所蔵されている朝鮮本を50年余調査研究し、また版種別に分類した研究目録を作成し、全ての人が一目に最善本を得られるように配列した。各書について従来にない精緻な記述を行い、底本となる中国本や影響を受けた和刻との関係が明らかになるよう配慮した。平成30年刊『日本現存朝鮮本研究 史部』によって、令和3年度恩賜賞・学士院賞を受けた。

研究成果の概要(英文)：I could smoothly carry out my investigation of old Korean books on schedule,

except the last year when many libraries are closed, owing to corona virus infection. I could finish the investigation of Sonkeikaku Library, Library of Waseda University, Matugaoka Library etc, and reconfirmed Library of Kyushu University, Miyagi prefectural Library etc. Old Korean rare books in Kyo-u Library which doctor Miki Sakae gathered, who was the famous specialist of Korean medical history and old Korean books, are rich, specially in medical books. Korean medical books which are gathered by doctor Hukui in Edo period and now deposited to Kyou-u Library by Agency for Cultural Affairs, are plenty of rare books. This year 2001 I was awarded the Imperial Prize and Japan Academy Prize by my work "The Study of Korean Books existing in Japan, Shibu"

研究分野：朝鮮語学・朝鮮文献学

キーワード：出版文化 坊刻本 木版本 活字本 内賜本

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

日本には古代から近世に至る迄絶え間なく朝鮮の書籍が齎され、それが日本文化の形成に大きく寄与している。特に高句麗・百濟・新羅からの仏教を中心とした諸文化や書籍は、日本文化の形成に甚大な影響を与えた。その時の仏書は日本僧による写本として綿々と受け継がれてきた。ただ古代から室町時代末頃迄の書籍はほとんど伝わらず、安土・桃山時代以降の書籍は日本各地に歴々に伝存する。しかしそれらについての網羅的な研究や目録はなかった。幾ヶ所かの文庫や図書館には朝鮮本を対象とした目録はあるが、それとても極めて簡単で、版種や刊行時の明確でない誤謬の多いものであった。そこで筆者は現在日本に伝存する全ての朝鮮本を実地に踏査し、目録をも兼ねた研究書を作成しようと考えた。明治まで日本にあり、明治期に購入されて大英図書館や台湾故宮博物院に所蔵される書籍も、日本現存に準じた。

2. 研究の目的

本研究の目的は日本に現存する全ての朝鮮本に就いて、その書誌学的な記述や成立経緯・他版との有機的関連などを明らかにするものである。朝鮮本には朝鮮人の撰述書以外に、中国書を刊行したものが多くある。そしてその中には既に中国で失われた書や現存書と系統の異なる書を伝えるものがある。これらは中国学に大きく資するものである。更に特に江戸初期には朝鮮本を基にして、儒教・歴史・医学・文学その他の広範囲にわたって和刻本が多く出されており、これらが江戸以降の学術に与えた影響は極めて大きい。従って朝鮮本研究は日本学にも資するところが大きい。

3. 研究の方法

日本現存朝鮮本は幾ヶ所かの文庫や図書館の朝鮮本を対象とした目録で確認できるが、それはごく一部である。通常は漢籍目録或いは国書目録に混じって記録されている。目録に記録されていても中国本とされていることが多い。更に目録の無い文庫や図書館では存在有無さえ判らないのが実情である。目録のある場合はそれらしいものを出してもらったり、ない場合は直接書庫に入れてもらったりして探し出すが、部外者の入庫は極めて難しい。そのように日本全国を踏査し、多くの朝鮮本を探し出した。その中には天下の孤本も少なくない。現在韓国に現存する古本には零本・残本・破損本が多いが、日本現存本は殆どが完本であり、破損もほとんどない。一部の書に対して28調査項目を定め、全頁一枚一枚確認するという従来にない調査方法を採用した。不完全な調査法を採れば、また何人かがそれを補わねばならない。筆者は50年余朝鮮本の調査に当たってきたが、筆者に続く者はなく、恐らく50年後、100年後も同様と思われる。従って筆者がより一層完全を期さねばならないと考える。本研究では巻末や版心に刻された全ての刻手名を記録した。これによって該書の刊行時や刊行地を特定できることがある。又撰者についても一項目を設け、従来生没はその年のみを記していたが、筆者は年譜・実録・金石文等を利用して月日まで記すことに努め、また生地・歿地・墓所についても記した。筆者既刊の二冊では最善本が一目で判るようにし、研究者の金銭的・労力的負担を解消した。

4. 研究成果

1 著書

『日本現存朝鮮本研究 史部』 A4版 上下2段 1588頁 韓国東国大学校出版部 2018

2 編書

『書物・印刷・本屋』 877頁 勉誠出版 2021.6

3 共著

「日本古活字版と朝鮮及び西洋印刷術 アーネスト・サトウと新村出の所説を中心に」

(『新村出記念財団設立三十五周年記念論文集』 新村出記念財団 2016)

「朝鮮出版文化の始まりとその展開」(『書物の文化史』 丸善出版 2018)

「日本と朝鮮の書籍交流」(『漢字を使った文化はどう広がっていたのか』 文学通信 2021)

4 論文

「Commercial Publishing in Choson Korea before Bookshop Editions」(『ACTA ASIATICA』 116 東方学会 2019)

「河合文庫概観」(『民族文化研究』 83 高麗大学校民族文化研究所 2019)

「朝鮮読書人と書籍入手」(『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』 13 立命館白川静記念東洋文字文化研究所 2020)

5 講演

「朝鮮本坊刻本以前」 東方学会 2017

「朝鮮の坊刻本に就いて」 第5回東亞漢籍交流国際学術会議 2018

「日本現存朝鮮本 史部について」 東国大学校文科大学 2018

「日本所蔵韓国古文獻研究五十年」 韓国順天大学校南島文化研究所 2019

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 藤本幸夫	4. 巻 83
2. 論文標題 河合文庫概観	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 (韓国高麗大)民族文化研究	6. 最初と最後の頁 143-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 藤本幸夫	4. 巻 13
2. 論文標題 朝鮮読書人と書籍入手	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 FUJIMOTO Yukio	4. 巻 116
2. 論文標題 Commercial Publishing in Choson Korea before Bookshop Editions	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACTA ASIATICA	6. 最初と最後の頁 73 - 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 藤本幸夫	4. 巻 -
2. 論文標題 日本古活字版と朝鮮及び西洋印刷術ーアーネスト・サトウと新村出の所説を中心にー	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 新村出記念財団設立三十五周年記念論文集	6. 最初と最後の頁 117-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 藤本幸夫
2. 発表標題 日本所蔵韓国古文献研究五十年
3. 学会等名 韓国順天大学校南島文化研究所（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本幸夫
2. 発表標題 日本現存朝鮮本一史部について
3. 学会等名 韓国東国大学校文科大学（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤本幸夫
2. 発表標題 朝鮮の坊刻本について
3. 学会等名 第五回東亜漢籍交流国際学術会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤本幸夫
2. 発表標題 河合文庫概観
3. 学会等名 韓国古文献の世界－京大河合文庫目録刊行記念シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本幸夫
2. 発表標題 朝鮮本坊刻本以前
3. 学会等名 東方学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 藤本幸夫 編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 877
3. 書名 書物・印刷・本屋	

1. 著者名 藤本幸夫 共著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 450
3. 書名 漢字を使った文化はどう広がっていったか	

1. 著者名 藤本幸夫 単著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東国大学出版部	5. 総ページ数 1588
3. 書名 日本現存朝鮮本研究 史部	

1. 著者名 藤本幸夫 共著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 194
3. 書名 書物の文化史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

日本現存朝鮮本研究データベース 史部・集部 www.fl.reitaku-u.ac.jp/~schiba/db/shuu/index.html

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関